

「みる」・「まなぶ」・「する」スポーツをテーマに、『スポーツフェア2018』が、5月13日（日）、埼玉県立武道館で開催されました。

イベントの中で行われた、柔道種目、埼玉県女子振興委員会の取り組みについてご紹介いたします。

■演武10：10～10：20

現在、県チャンピオンである、吉田・早坂氏（埼玉県警）が「投の形」の演武を披露。子どもたちは、キレと迫力のある「投の形」を真剣に見学していました。



*「投の形」の演武



*みんな仲良し！県内合同練習会

■体験10：20～11：20

埼玉県女子振興委員会の女性指導者が、初心者柔道体験教室を担当し、未経験者（幼児～小学6年生）20名、始めて経験の浅い初心者の方がよい子ども5名。未経験者（大人）12名の方々に柔道体験をしていただきました。

〈内 容〉

- ①柔道の礼法を覚えよう！（立礼・座礼）
- ②頭を守るよ！後ろ受け身（長座から・中腰から）
- ③ころんでも大丈夫！横受け身（寝た状態から・中腰から）



■中島政司県柔道連盟会長講話

本県柔道連盟中島政司会長から、柔道体験者の方々に柔道の魅力についてお話がありました。

「生活の中に受け身は使えます。例えば、雪の日など、転んだ時に怪我をしない転び方を身に付けることができます。」等々。会長自ら、柔道広報活動にご尽力いただき、先頭に立って底辺拡大運動を行っていただきました。



* 中島政司県柔道連盟会長の講話



* 指導を行った埼玉県女子振興委員会の女性指導者4名
(向かって左から、宇井先生・菅先生・中島先生・副委員長 飯田先生)

1時間程度の練習と体験でしたが、普段なかなかできない仲間たちと柔道交流をしたり、ご兄弟やお友達、保護者の方々に柔道体験をしていただくことができました。

練習後は、各自で色々な他種目の武道体験をしたり、中庭での出店や食事を楽しんだり、和太鼓の演奏を聞いたり、家族で楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

次回は、12月1日(日)に行われる、「武道祭」の中で活動予定です。

埼玉女子柔道振興委員会は、地域に根付いた地道な活動をコツコツ行って参ります。

一緒にご参加いただける元女子柔道家の皆様、子どもが柔道をはじめてご興味を持たれた保護者の皆様、子どもから大人まで一緒に汗を流しませんか？

柔道場での楽しい一時と笑顔をお約束いたします。どうぞ奮ってご参加ください。たくさんの方をお待ちいたしております。

報告者：埼玉県女子振興委員会 川原 久乃